

事務局からのお知らせ

●事業実施状況報告(10月末)

	令和4年	令和5年	
会員数(人)	男 女 計	1,304 481 1,785	1,324 491 1,815
就業実人員(人)※		1,498	1,517
就業率(%)		83.9	83.6
受注件数(件)	公共 民間 派遣	44 2,579 117	48 2,590 37
請負契約金額(千円)		434,918	457,481
派遣契約金額(千円)		83,941	83,938

※「就業実人員」数は、請負契約及び派遣契約の就業会員の合算数値になります。



●事務局からのお願い

●「ゆずりは」の発行について

現在、広報部会では「ゆずりは」の発行回数と配布方法について検討を行っています。これは、第4次基本計画にIT化の推進とセンター経営の合理化が掲げられています。

「ゆずりは」を年4回発行するには、約160万円の費用が必要となります。



方針が決まり次第、会員の皆様には「ゆずりは」等でお知らせします。

●パレット柏での受付

パレット柏では、平日の午前10時から正午まで、午後1時から午後4時までの時間帯で作業日報、勤務実績通知書等の受取に対応しています。



提出書類等管理簿に必要事項を記入の上、専用ボックスに提出書類を入れてください。

▶年の初めに思うことは何でしょうか。▶個人的な希望とは別に、現在世界で起きている戦争が1日でも早く終結して欲しいと思うのは、地域を超えた多くの人たちの願いでしょう。誰もが安心して眠れるようにと。

■配分金支払日

- | | |
|--------|----------|
| □ 12月分 | 1月25日(木) |
| □ 1月分 | 2月26日(月) |
| □ 2月分 | 3月25日(月) |

※毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局へご連絡の上、窓口までお越しください。

ゆずりはクイズ Part58

- Q1、会員1人当たりの経費でシルバー保険料の次に多いのは何料でしょうか?
Q2、自転車事故で頭部への致命傷で亡くなった方は、約何割でしょうか?
Q3、振り込め詐欺の手口は、還付金詐欺、架空請求詐欺、預貯金詐欺の他は何でしょうか?

☆ヒント:5面、6面を見てください。

◎答をハガキに書いて事務局に送ってください。
締め切りは **2月9日(金)** です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。
ご応募をお待ちしています。
会員番号と氏名を忘れずに書いてください。

◎ ゆずりはクイズ Part57の正解

- Q1の答:山口常務理事
Q2の答:日野さん
Q3の答:傷害事故6件
賠償事故2件

応募数13通
うち正解者数
10通でした。

お願い センターの電話番号の登録を!

04-7166-6681

作業日報の確認や就業紹介等、多くの要件で会員さんの自宅や携帯電話へ連絡しています。センターの電話番号の登録をお願いします。

ゆずりは

Yuzurihisa

第
130
号

編集・発行 令和6年1月20日
公益社団法人 柏市シルバー人材センター
〒277-0004 千葉県柏市柏下66-1
柏市保健労働会館2階
TEL 04-7166-6681 FAX 04-7163-4150
URL <http://kashiwa-sjc.or.jp>
メール kashiwa@sjc.ne.jp



目次

- 2P 会長挨拶 / 柏市長挨拶 / 市長表敬訪問 / 副市長面会
- 3P 地域班全体会議 / シルバーサロン / 新入職員紹介
- 4P 植木班会議 / パソコン班会議 / 施設クリーンスタッフ講習
- 5P シルバーの顔 / 会費の内訳 / インボイス制度の対応
- 6P 安全研修 / 安全だより / 振り込め詐欺等に注意
- 7P 介護サポートサービス情報 / SG会
- 8P 事務局からのお知らせ / 編集後記

シルバーの 顔



柏東地区(常盤台班) 安西 明さん
P5をご覧ください!!

会長挨拶

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年5月、長く続いた新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会生活は活発に動き始めました。その一方、少子高齢化が進み労働人口の減少が続いております。

このような環境変化により、シルバー世代には生涯現役で活躍する事が期待されています。

今年のシルバー人材センターは、インボイス制度の導入により、厳しい経営環境におかれますが、会員・役員と事務局の連携強化やIT化の推進に努め、就業機会の拡大を図るとともに地域社会にも貢献して参りたいと思います。

会員の皆様には、シルバー事業の推進に、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

会長
田口 幸子



柏市長挨拶

新年明けましておめでとうございます。

柏市長の太田和美です。

柏市シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、長年培つてこられた経験や知識を活かし、日常生活に密着した就業を通じて、地域社会に貢献していただき、ありがとうございます。

令和5年は新型コロナウイルス感染症がようやく5類に移行し、4年ぶりの開催となった手賀沼花火大会をはじめ、本格的に活動を再開することが出来ました。令和6年も引き続き地域経済の活性化をはじめ、子育て環境の充実や誰もがいきいきと学べる環境の構築、まちの魅力向上等につながる、より実効性の高い政策を進めてまいります。

また、誰もが健康で安心して暮らせる社会を目指し、生涯現役社会の推進を図るために、貴センターと連携を深めながら、高齢者の方々の就労を支援し、自己実現と社会参加を後押ししてまいります。

結びになりますが、会員の皆様のご健康とご多幸、柏市シルバー人材センターの益々のご発展を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

柏市長
太田 和美



市長表敬訪問

今年度、役員改選が行われ、新体制となったことから10月11日に田口会長、飯島副会長、山口常務理事、松田事務局長、川口総務企画課長で太田柏市長へ表敬訪問を行いました。

全国的にも女性の正副会長はまれであり、女性同士の朗らかな会談となりました。

太田市長からは、「市の業務でシルバー人材センター

に依頼できるものがあると思います。就業場所の提供でもシルバー人材センターへの協力が出来れば」と力強いお言葉を頂きました。



副市長面会

10月18日、加藤・奥田両副市長と面会し、①インボイス制度とセンター経営の合理化、②公共事業の受注拡

大、③市補助金の増額、④駐輪場の労働環境整備、⑤パレット柏窓口への職員配置支援等について、約1時間にわたり説明と要望、意見交換を行いました。

● 第2回地域班全体会議

12月22日、令和5年度第2回地域班全体会議がアミュゼ柏1階プラザにて開催されました。出席者は、各地域の地区長、班長、副班長の41名と、田口会長ほか役員、事務局を含め66名となりました。

会議は、木下好則総務部会部会長が司会進行役となり、田口会長の挨拶で始まりました。

今回の議題は、①地域班の現状について、②地域班アンケートの実施についての2点。

このため、出席した各地区代表者から現状と課題について発言を求め、その結果、多くの地域で後任者探しや班会議の開催の困難さを聞き取ることが出来ました。

また、工藤総務部会副部会長からアンケート調査は、役員の選出や地域班活動、地域の今後について地区長はじめ全役員から率直な意見を伺うもので、その結果を次回の地域班地区長会議で報告し、協議すること

としています。

最後に、健康診断書提出の廃止やインボイス制度の対応について等の質疑応答がありました。

今後の地域班活動の方向性については、詳細が決まり次第、会員の皆さんにお知らせします。



● シルバーサロン

11月20日パレット柏にて、「シルバーサロン」が開催されました。当日は、女性部会のメンバーを中心に、田口会長と2名のジョブコーディネーター(井口、入山)も来場者の対応を行いました。

参加者の多くは、広報「かしわ」でシルバー人材センターの存在を知り、シルバーサロンに参加してセンターは、どのような活動をしているのか、どのくらいの年齢層の方が活躍しているのか、どのような仕事を紹介してもらえるのか等、熱心な市民が多く参加されている印象を受けました。

また、現在は仕事をしているが定年後の自分の選択肢として情報収集に来られた方もいました。

前回8月に開催した際は、猛暑の影響もあり参加者

が減少しましたが、今回は21名の方が参加され、その場で入会説明会の予約をされる方もいました。

この活動を継続することにより、当センターの認知度の向上と会員の拡大に繋がっていくと思います。今後も開催方法を工夫しながら、市民に広く認知されるよう努めています。

次回は、2月20日に開催予定です。



新入職員紹介

ジョブ
コーディネーター

えがわ ひろし
江川 広
(北部担当)



経理補助
スタッフ

いけだ まゆみ
池田 真弓



事務補助
スタッフ

まつい てるこ
松井 輝子

経理補助の鈴木様、事務補助の芝辻様が退職されました。お疲れさまでした。

● 植木班会議

10月26日にセンターの大会議室で第5回植木班会議が開催されました。この会議は植木班に所属している会員が定期的に開催しています。今回は、各班長10名の出席の他、事務局も参加して会議が行われました。植木班は現在40名を超える班員があり、センターの中でも多くの会員が携わっている仕事で、取りまとめ役の内山班長を中心に、仲間意識も高く、皆さん頑張っています。

今回の会議は、最初に事務局から報告事項として①班や班員の動向、②安全就業に係る報告、③顧客からのクレーム等の説明がありました。続いて、各班の懸念事

項や安全管理、繁忙期の応援体制、今後の講習会等、協議事項について話し合いが行われました。

現在も繁忙期が続いているが、作業を遂行する上で安全管理は一番大切であること、ヘルメットの着用は勿論、安全帯や三脚、足場の問題等共通の課題も多く、出席者で共通認識が図れたと思います。

また、植木班はお客様と直接お会いすることが多く、作業に関する苦情もセンターに届くことがあります。苦情を少なくするために事前にお客様との>Contactとコミュニケーションの大切さについて、前向きな意見交換が行われました。

件数の調整をしています。

また、広報活動ではチラシやポスター等を近隣センターに配架しています。

活動状況については、比較的簡単な作業から専門的な事まで様々ですが、依頼者から大変喜ばれているようです。シルバー人材センターに登録している会員や元会員からの依頼もあります。会員の皆さんもお困りの際は、活用してみてはいかがでしょうか。



DVDと「清掃の手引き」の教材を基に進められ、その後2つの班に分かれて実技訓練が行われました。ほうきやモップ等清掃用具を使用した実技と、洗剤の種類や特徴の説明、トイレや洗面所とガラスの磨き方、スクイジーとタオルの使い方まで講師からきめ細かな指導がありました。

参加された会員の皆さん、清掃技術だけでなく、お客様とのコミュニケーションの取り方、お客様は作業のどこに目を向けて我々を見ているか、そのポイントを的確に教えていただくことで、作業者だけでなく忘れてはならないお客様の安心・安全についても身に付くことが出来たように思われます。

今回の講習では、参加者の技量や経験にあった指導を受けられ、参加して初めて知ることが多くありました。質問や意見交換もあり、非常にためになる講習でした。是非、多くの会員の皆さんも参加することをお勧めします。

● パソコン班会議

12月4日大会議室において、パソコン班の定例会議が開催されました。出席者は、日野班長、大杉副班長を含めて7名となりました。

今回の議題は①10月、11月の受注状況、②班員の担当件数の状況、③広報活動等でした。

受注状況は、個別案件について担当者からの報告と問題点や技術に係る情報交換を行いました。作業の依頼内容は様々で、比較的初心者の方からパソコン立上げ等サポートやトラブル対策が多いようです。12月は、年賀状作成サポートの依頼も多くなるとのことでした。

作業を依頼された方は、柏市の広報紙を見た方が多く、班員別の担当件数も前年同期と比べて8%増加していますが、就業会員の受注状況を考慮しながら作業

● 施設クリーンスタッフ講習

10月18日「施設クリーンスタッフ講習」が柏市保健福祉社会館2階大会議室で開催されました。参加者は15名で会場は満席状態でした。この講習会は、千葉県シルバー人材センター連合会が主催し、長谷工コミュニティ技術研修センターから派遣された講師4人による講習会です。

主催者の挨拶につづき「清掃作業のポイント」の



項目や安全管理、繁忙期の応援体制、今後の講習会等、協議事項について話し合いが行われました。

現在も繁忙期が続いているが、作業を遂行する上で安全管理は一番大切であること、ヘルメットの着用は勿論、安全帯や三脚、足場の問題等共通の課題も多く、出席者で共通認識が図れたと思います。

また、植木班はお客様と直接お会いすることが多く、作業に関する苦情もセンターに届くことがあります。苦情を少なくするために事前にお客様との>Contactとコミュニケーションの大切さについて、前向きな意見交換が行われました。

件数の調整をしています。

また、広報活動ではチラシやポスター等を近隣センターに配架しています。

活動状況については、比較的簡単な作業から専門的な事まで様々ですが、依頼者から大変喜ばれているようです。シルバー人材センターに登録している会員や元会員からの依頼もあります。会員の皆さんもお困りの際は、活用してみてはいかがでしょうか。



DVDと「清掃の手引き」の教材を基に進められ、その後2つの班に分かれて実技訓練が行われました。ほうきやモップ等清掃用具を使用した実技と、洗剤の種類や特徴の説明、トイレや洗面所とガラスの磨き方、スクイジーとタオルの使い方まで講師からきめ細かな指導がありました。

参加された会員の皆さん、清掃技術だけでなく、お客様とのコミュニケーションの取り方、お客様は作業のどこに目を向けて我々を見ているか、そのポイントを的確に教えていただくことで、作業者だけでなく忘れてはならないお客様の安心・安全についても身に付くことが出来たように思われます。

今回の講習では、参加者の技量や経験にあった指導を受けられ、参加して初めて知ることが多くありました。質問や意見交換もあり、非常にためになる講習でした。是非、多くの会員の皆さんも参加することをお勧めします。

● 現役時代と入会のきっかけ

四国高松のご出身。お会いしたときの印象は細身ながらしっかりした体形でお話ししやすい方でした。

現役時代は、精密小型モーターで知られている企業で生産技術を担当し、新しい技術開発、製造ラインの新設、改善など会社の発展の源を担当され、ご苦労の中にもやりがいのある仕事をされていたそうで、話を聞いていると技術屋さん的一面を感じました。

定年後、会社の先輩からシルバーのことを知られ、パレット柏での説明会に参加したのが入会するきっかけになったそうです。

● シルバーでの仕事

現在は、豊四季台近隣センター体育館で就業していますが、以前は、ジョブコーディネーターの仕事をされていたので、ご存じの方も多いと思います。現在の就業は、5人でのローテーション就業。来場者との接点も多く、就業時間帯は、ひとりで対応するため責任を感じながらも、子供達が利用した時は顔がほころぶことが多いそうです。



● もう一つの顔

写真にもありますが趣味のアルトサックスは、仲間達と楽しみながら30年続けられたベテランで、シルバーでのイベントでも活躍されました。

映画やお酒も大好きで、昔はご自身で8ミリ映画を作られたこともあるそうです。お酒はチューハイが大好物。

定年後の生き方として、仲間づくりや趣味の世界と心の豊かさを感じさせていただきました。

中でも、シルバー保険料は、事故が多いことから、年々上昇傾向にあります。グラフが示すとおり、1人あたりの会費額では経費を貯えていない状況です。このまま経費が増えると現在の会費額では財政的に厳しくなります。

では、どうすれば良いのか?

① 事故を無くす: 事故が無くなれば保険料は引き下がられる

② 「ゆずりは」は、センターのホームページで見るか近隣センター等の公共施設で受け取る: 地域班での配布や郵送を廃止する

③ シルバー保険の補償内容を見直す: 補償額の引き下げや賠償保険の会員の一部免責負担額を設ける

④ 会費を値上げする etc…。

けすることはできません。

ただし、来年度以降は年々納税額が増額される予定で、会員の皆様には就業条件等でご協力ををお願いする場合があります。ご承知ください。



● インボイス制度の対応

令和5年10月からインボイス制度が導入され、この制度による今年度の納税額は約700万円です。柏市や民間発注者のご支援、ご協力を得られたことで、今年度分の納税については、会員の皆様にご負担をお掛けすることはありません。

● 安全研修

11月21日シルバー人材センター大会議室にて、「安全研修」が開催されました。この研修は、毎年実施されています。

10月末現在までに13件の事故が発生しています。「安全」は自分の身を守るためはもちろん、お客様の信頼を確保するうえでも非常に重要です。

講師は日野前会長が努め、今年度の役員改選により、新たに就任された安全委員会の寺田委員長も参加しました。

研修は、オリエンテーションから始まり、安全に関するDVDの視聴、指差呼称、ひとりKYT(危険予知訓練)について学習し、実際にKYTも行いました。

初めて参加された方も多く、慣れない様子が見受けられま

れましたが、その必要性を実感されていました。

今年度の事故のうち7割は就業中に発生しています。「自分は注意しているから大丈夫!」という考えは捨て、「危険」を予知して作業に取り掛かることが重要です。指差呼称は、ひとりで出来るKYTです。各就業場所で実施することで、その行動が自分の身を守る最短コースとなります。

今回の参加者は6名でしたが、研修に参加することで、安全就業と事故防止への認識を再確認することが出来ます。会員の皆さん積極的に参加しましょう。



安全だより

● 自転車用ヘルメットの着用

2023年4月1日から、自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務となりました。

交通事故全体に占める割合のうち自転車が関係する事故は、年々増加傾向にあり、自転車事故で亡くなった方の約6割は頭部への致命傷が原因となっています。

当センターの会員も就業途上の自転車による転倒事故が増加しています。自転車は便利な乗り物ですが、ちょっとした不注意や判断ミスで重篤事故に繋がる場合があります。ご自身の身を守るために、自転車乗車時のヘルメット着用をお勧めします。

● 令和5年度(4月~11月)事故発生状況

傷害事故13件、賠償事故2件、合計15件の事故が発生しています。

事故の原因となるものは、いつどこに潜んでいるかわかりません。就業の行き帰りや就業中、慣れた道、慣れた作業で事故が多発しています。日々の行動に十分注意しましょう！

また、これから季節は、雪による転倒事故が増加します。雪が降った翌日は道路が凍っている所が多く、滑りやすくなりますが、ちょっとした不注意や判断ミスで重篤事故に繋がる場合があります。ご自身の身を守るために、自転車乗車時のヘルメット着用をお勧めします。

という結果があります。

人の認知機能は、50歳ごろから低下し、高齢になるとほど判断力や声の認識能力に不安が残ります。



詐欺グループは、様々な職業や役割を装って電話をかけてくるため、その場で見破るのは大変です。

高齢者をターゲットにした特殊詐欺には、どのような手口があるのかを知っておくことで被害を防ぐことが可能です。万が一怪しい場面に遭遇した場合でも、慌てて言われた手続きを進めるのではなく、家族や警察に相談することが大切です。

くれぐれも「自分だけは大丈夫！」と油断しないよう気を付けましょう。

● 振り込め詐欺等に注意！

令和4年の柏市の振り込め詐欺被害件数は、121件。被害額は、約3億2358万円です。これは、3日に1人柏市の誰かが被害にあっている計算になるそうです。

では、詐欺にはどのような手口があるのでしょうか？

① 振り込め詐欺の手口

電話による詐欺の手口が多く、オレオレ詐欺、還付金詐欺、架空請求詐欺となります。

② 自宅訪問型詐欺の手口

リフォーム工事、貴金属の買取、点検商法(家を点検した結果、高額な契約をせまる)が多くなっています。

警視庁の調査では、被害者の多くは「自分は詐欺に遭わない」と自信があった、「誰にも相談しなかった」

介護サポート サービス情報 7

「介護サポート」の就業会員の体験などをシリーズでお届けしています。皆さんの参考としていただければ幸いです。

(取材 女性部会役員)

内 仕事の内容

慣 慣れるのに要した期間

苦 苦労したこと

続 就労期間、継続するためのポイント

樂 楽しいと思うこと

● 体験1 (Aさん)

内 特別養護老人ホームで週2日、入居者がお風呂に入った時に、下着や洋服を洗濯しています。大きな洗濯機で40分、乾燥機で40分、その後乾いた洗濯物を個人のお風呂セットに入れてていきます。

苦 少し目が悪くなってきたので、洋服のほこりの直しやボタン付け等をする時は苦労します。洋裁関係は、他のヘルパーさんにお願いし、自分の出来る洗濯機の掃除等を行い、助け合いながら仕事をしています。

始 事前に体験させてもらい、自分でも出来る仕事だと思ったので、特に不安はありませんでした。

樂 洗濯物を寮母さんに届けた時に、「いつもありがとう」と声をかけていただくと、やりがいを感じて嬉しく思います。

慣 仕事は1週間程度で慣れました。洗濯は、普段から家で行っている事なので、それほど大変ではありませんでした。

続 10年間続けています。施設のスタッフは親切な方が多く、一緒に働いているヘルパーさんとも仲良く仕事が出来ているので、長く続けられていると思います。日頃のストレスを溜めないようにして、健康でいようと心掛けています。

● 体験2 (Oさん)

内 特別養護老人ホームで週3日、9時~15時まで洗濯の仕事をしています。洋服やバスタオル等を洗濯し、乾かし、畳んで各部屋へ配置する仕事です。ショートステイやデイサービスを利用される方がいらっしゃるので、週2回お風呂の準備も行います。

苦 季節の変わり目に洋服を準備するときは、暑がりの方や寒がりの方に合わせるため、気を遣います。

始 最初は、下着や靴下等名前を間違えていないか不安でした。慣れてくると、名前が記入されないと分かるようになりました。

樂 きれいになった洋服を気持ちよく着ていただいていること。ボタンやウエストのゴムをつくろってきちんと着られる服に仕上げたときは、自己満足かもしれませんのがうれしいです。

慣 最初は戸惑いましたが、要領を覚えてからは失敗も少なくなった。

続 13年目になります。始めたころは、旅行したり美味しいものを食べたりすることが目的でしたが、働いて体を動かす方が自分には良く、仕事をしていることが元気の源になっているようなので、続けていきたいです。

● 第34回SG会開催

10月16日、取手桜が丘ゴルフクラブにて、参加者17名でコンペを開催した。このコースでの競技は第28回(2020年10月)以来3年ぶり。プレー費が1万円を超えるのは難点だが、柏から40分程の距離が魅力。コースレイアウトは、高低差3メートルというフラットな地形、川が流れ、池をふんだんに配置し、細かいアンジュレーションの落とし穴があり、戦略を求められる。風もなく快晴。前日夜に雨が多かった模様で、芝は湿った状態。乗用カートが新しく2人から4人乗りに変わって和気あいあいプレーできた。結果は、全員のアベレージを見ると、好スコアは5番と13番のショートホールで+0.8、一方、ワーストは8番ホールで+2.1、これは2打目でコースを横切っている川越のハードルが影響したかも？入浴後は定例の表彰式。優勝は、「柏

に来て3年、安いゴルフ場があり、仲間とできるようになって上達した」と語った渡邊剛史会員。入賞や順位賞、B G、B B、D C、N P賞の表彰と、受賞者の喜びの声の他、全員が一言スピーチを行って終了。次回は5月20日の予定、元気で再会することを約束し閉会した。

寄稿 日野良英

